

完成したロックフィルの岩屋ダム（木曾川用水の水源）  
高さ128米のロックフィル型式、有効貯水量1億50万立方メートルで  
農水、上水、工水、発電、および洪水調整を目的とする多目的ダム



完成した海部幹線水路

〈後記〉

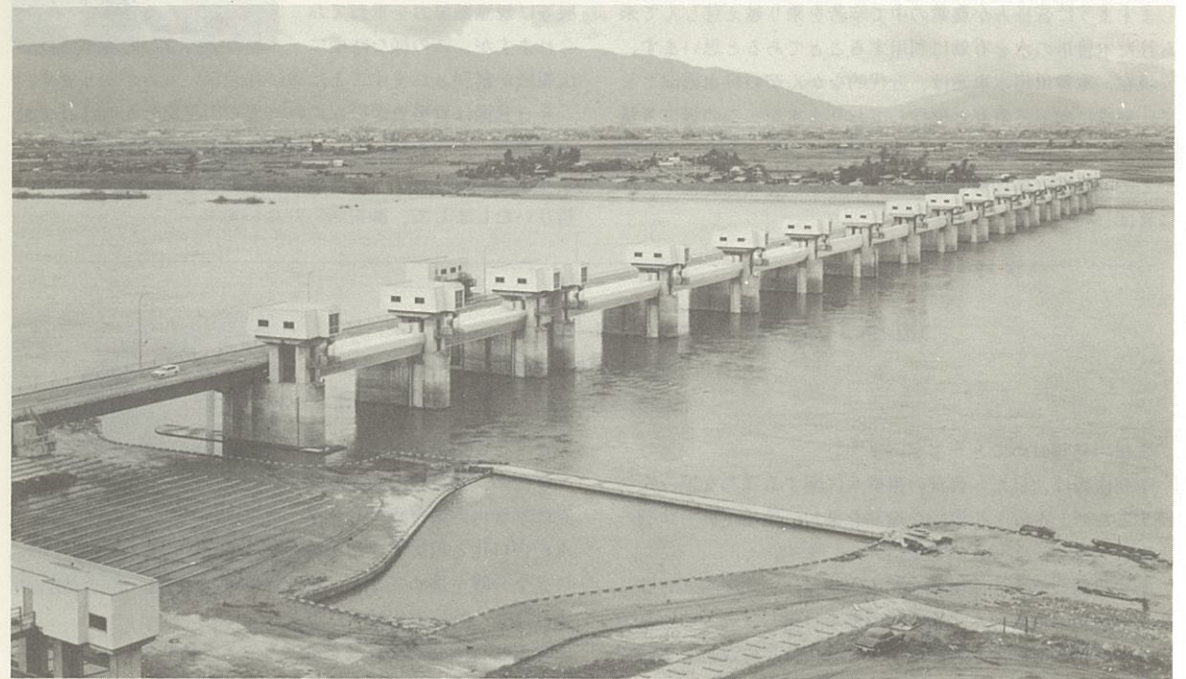
組合員各位が推し進めてこられました木曾川用水事業も進捗の度を増し、頭首工の完成海部幹線水路の目覚しい進捗により、このたび通水の喜びを共にすることが出来るようになりました。この機に組合員のみなさんに改良区運営上の要点の周知徹底をはかると共に皆様目、耳となって、諸情報を連絡報道する役割を果たすべく、ここに「海部土地改良区広報」を発刊することになりました。今後は予算が許せば年2～3回ぐらゐの刊行を考えておりますが、紙面の許すかぎり諸情報を詳細に述べ、充実した「海部土地改良区広報」にしたいと考えております。

事務局長 山田 孝一

昭和51年7月10日発行 No. 1  
 発行所 海部土地改良区  
 所在地 津島市西柳原町1-14  
 電話 津島(0567)28-1965  
 印刷 一葉綜合印刷(有)

表題 吉川 博

# 海部土地改良区広報



木曾川大堰（馬飼頭首工）

理事長就任と広報創刊のご挨拶

理事長 吉川 博



世紀の大事業木曾川総合用水事業も、愈々木曾の清流を海部土地改良区受益地並びに、三重県2町村に引入れる時が来ました。

昭和44年着工以来実に7年。農民にとって今の喜びは如何ばかりでありましょう、永年の苦勞も一瞬の内に消え去って行く思いが致します。而しながら海部幹線用水事業も頭首工の完成を初めとし、祖父江地区、八開地区、立田地区と、概ね峠を越えた程度に過ぎず、未だ弥富地区、十四山地区の事業を残して居ります。一日も速い事業の達

成を乞い願うものであります。

今日まで事業の推進の上では幾多の困難も有りましたが、幸にも組合員の皆様、特に役員の方々には一方ならぬ御協力を賜り、其の成果を上げて参りました、この点深く感謝申し上げます。成を乞い願うものであります。

今度、7月3日の理事会に於て再度理事長の重責を汚す事になりました。責任の重大さを痛感致して居ります。皆様方の旧に倍する御支援をお願い致します。今後未だ未だ諸問題も山積して居ります、一つ一つ真剣に取り組み全事業の完成を目指し努力邁進して参り度いと存じます。

今回の通水祝いを機に「海部土地改良区広報」の発行を致し度いと存じます。広く農民の方々に木曾川用水の全貌と海部土地改良区の仕事の内容を御理解戴くのが目的であります。何卒御愛読下さい。終りに事業推進に御指導、御協力戴いた農林省、建設省、水資源開発公団、愛知県の関係各位に深く感謝申し上げ御挨拶と致します。

### 「海部土地改良区広報」の発刊を祝して

愛知県知事 仲谷 義明

この度「海部土地改良区広報」が発刊されるにあたり、心からお祝い申し上げます。

私は、日頃から、この東海三県が運命共同体として発展することを願っておりますが、その礎となるものは、歴史が示しますように皆様方が農業の中で辛苦を乗り越え慈しんで来られた木曾川の水を有効に利用することであると思います。

現在、木曾川用水事業は、近代的なかんがい排水施設として、完成に向って着々と進捗しておりますが、この様に多量の水資源を三県の多くの方々が多目的に利用できますことはひとえに皆様の御理解と御協力によるものでございまして誠に喜ばしいこととございます。

海部土地改良区 8,700 余名の組合員皆様方は、和をもって、英知を結集し、貴重な水資源の有効利用、改良区の発展等に鋭意御努力を重ねておられますが、この様な時期に広報紙が発刊されますことは誠に意義深いものがあります。

今日我国は食糧資源確保のため農業の見直しがかねがね叫ばれておりますが、この時期にあたり海部土地改良区が、本県はもとより全国の範として、今後増々御発展されることを心からお祈りいたしまして、御祝詞といたします。



### 通水式を迎えるに当り

木曾川下流総合開発促進期成同盟会名誉会長 衆議院議員 江崎 真澄

広報の発刊おめでとうございます。

季刊広報は、私たち農民の用排水に関する深刻な悩みを解決するため、きつと指導的な役割を果し、団結と協体制の上に、大きく役立つものと確信いたします。

木曾川総合用水の濃尾第二期用水事業は、佐屋用水をはじめ海部地域の農業用水の抜本的改善を目指して発足したものです。海部地区の用水施設は、今日まで改良に改良を重ねてきましたが、上流部から流す汚水の被害や海から登る潮の被害など悪戦苦闘の連続でありました。しかも、上流から押し流れてくる水は、自然排水ができず、組合による機械排水です。そこへ地盤沈下災害が発生し、まさに泣面に蜂というような状況であります。

こういう劣悪な用水を整備するため、受益地の最上流地点に木曾川大堰を建設し、用水の合口化と用排水兼用水路の完全分離を進めてきました。これにより低湿水田地帯は乾田化され、画期的な成果をあげることでありましょう。

今日、通水式を迎えるに当り、懸命な努力を続けてきただけに、嬉しさも一層であります。海部郡地帯の繁栄は、土地改良を離れて考えられません。今後とも私は、熱心な組合指導者各位と力を合せ、皆さまのご期待に添うべく全力をあげたいと考えます。



### 「海部土地改良区広報」創刊号に寄せて

参議院農林水産委員長 小林 国司

名古屋市近郊に在りながら農地としての土地条件に恵まれず、低迷した農業が永年に亘り続けられた海部郡全域の農業振興を図る先達が不屈の努力を傾けられたにも拘わらず、伊勢湾台風迄は著しい進展は見られなかった。

古今未曾有の大災害の復旧と併行して海部郡の農業振興の基盤とも言うべき土地改良事業が鋭意進められて早や16年経過した。国、県、団体等による各種土地改良事業が稀有とも言うべき我国最高の密度を以て実施せられ、愛知県海部郡の土地改良と言えば全国的にその名を知られる程に伸展を見ている。土地改良事業が農業に果たす役割は今更述べる必要もないが、如何に必要な事業だからと言っても簡単に進むもの

ではない。順調に行って当然、少しでも自分に都合が悪いと直ちに苦情を申し出る組合員のある中を自分を犠牲にして地区発展の為に努力された土地改良の鬼とも言うべき多くの功労者の存在を忘れてはならない。

食糧自給率の極めて低い我が国の食糧政策は遠くから根本的な見直しが要請される事は間違なかろうと思われる。海部土地改良区は優良農地を永久にそして大切に護って頂きたい。創刊号を祝して。



### 創刊号の発刊と海部幹線水路の通水を祝う

参議院議員 梶木 又三

創刊号の発刊にあたり誌上をかりて一言お祝いを申し上げます。

農業にとって清く豊かな水と、肥沃な耕地が母体であると伝わっております。これがために御当地におきましても数々の事業が実施されておるところであります。

此の度、水資源公団の海部幹線水路が通水の運びとなりましたことはまことに喜ばしく心からお祝い申し上げます。

この間、社会経済状況が大きく変貌する中で事業が進められ、めでたく竣工を迎えましたことは、水資源公団はもとより県、市町村、土地改良区、地元各位の努力の賜ものであり深く敬意を表します。

農政の基本は食糧の、国内生産基盤の強化と自給力の向上をめざすものであり、このための農業基盤整備は、最近の世界的な食糧不足傾向の中で、ますますその重要性が認識されてきております。この農業基盤整備事業の中でも特に大きなウェイトを有する基幹かんがい排水事業は、今後も一層その推進をはかる必要があります。私も従来にも増して一層努力する所存でございますので、このうえともご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



### 祝 辞

参議院議員 橋本 繁蔵

このたび海部土地改良区の機関紙が発刊されるにあたり心からご祝辞を申し上げる次第でございます。

海部土地改良区は一市二郡九ヶ町村からなる広大な組織であり、夫々の地区に於いて農水利の不備や改修を行ないつつ、日夜活発な活動を展開され、地域の皆さんはもとより、私共、県民に至るまで貴団体の恩恵をいただいております。

然るに今般、海部土地改良区に最も関連する木曾川用水事業大堰が完成を見ることになりました。濃尾平野の西の方、鈴鹿の山々を頂くこの雄壮なる馬頭頭首工は、私が永年愛知県議会に在職中から種々構想がねられ、参議院議員として国政に参画致しております今日、その完成を見るは感無量でございます。

思えば美しい水郷地区も、時代と共に新しい発展を希求

せられるのも流れの一つと痛感致します。

大河川から支線水路を得、農業、家庭用水に至るまで充満することを思うと喜びもひとしおでございます。

国は、水資源開発促進法に基づき、木曾川水系に於ける水資源の有効な利用を促進し、農業改善事業の一段の飛躍を目的としたのであります。

私は、海部土地改良区の皆様、いつに変わらぬ私情を捨てて大道につき力強いご協力があったればこそ心から敬意を表するものでございます。

終りに臨み、海部土地改良区の一層のご発展と皆様のご健勝を祈りつつ創刊の祝辞と致します。



### 「海部土地改良区広報」の創刊を祝して

愛知県土地改良事業団体連合会会長 丹羽 兵助

このたび「海部土地改良区広報」の創刊号を発行されるようになりましたことを心からお慶び申し上げます。

海部土地改良区が現在積極的に推進されている木曾川総合用水事業は愈々最盛期を迎え、巨額の年度予算をもって水資源開発公団の直轄事業或は県の委託事業として着々実施されておりますことは、誠に欣快の至りに存じ上げます。尚この地域は地盤沈下特別対策地区として更に真剣な諸調査が進められていると聞いております。地域発展のためにこれ程重要且つ緊急を要する事業は外にないと思います。こういう時期に際して広報が発刊されますことは誠に意義深いことであり

ます。これにより最新情報を受益農家を始め、関係各方面に速やかに伝達し関係者の希望や意向をいち早く行政に反映させると共に関係各方面の理解を深め、これら事業が円滑にしかも早期に立派に完成乃至は適切な対策の実現がはかられますよう特別なる貢献がなされますことを衷心よりお祈り申上げて創刊の御祝辞と致します。



### 「海部土地改良区広報」創刊を祝して

海部郡町村会会長 堀田 秀 丸



海部土地改良区広報の発刊おめでとうございます。木曾川用水事業も着々と進行し、長年待ちこがれた木曾川の水を木曾川大堰より取水できるようになりましたことは海部郡地域の今後の農業の原動力としてまことに喜ばしいことであります。一日も早くこの事業が完成し、豊かな農村、近代的農業経営の大動脈となりますよう心から念願するものであります。

れ地域住民のよき相談誌として発展されんことを希い創刊号発刊のお祝いの言葉といたします。

当誌により改良区の運営上の諸状況が広く組合員に報道され組合員の理解のもと、強固な団結によって改良区発展の礎を築かれると共に関連諸機関諸団体との情報交換も併せ行わ

### 創刊を祝して

津島市長 井 桁 克



木曾川総合用水事業は、昭和44年に着工して以来、今日に至るまで実に7年、事業の完成も目前になりました。農業用水だけでなく、都市用水の確保も図られ、尾張西南部の総合的な基盤整備は着々と進み、将来に向かってめざましい発展の基盤は出来あがりしました。用排水機能を一段と向上させたこの事業は、地盤沈下地帯として悩む当地域において待ち望まれていたものであります。

と思います。広報の発刊を祝し、組合のご発展をお祈りします。

いまや、県政界の領袖として令名高い吉川博先生を理事長に、海部土地改良区の陣容は充実し、地域組合員と土地改良区が水利用について充分調整せられ、運営が円滑に図られるため、この広報を発刊されることは、時宜を得たものである

### 「海部土地改良区広報」創刊によせて

海部郡水利事務所 理事長会長 五 島 利 夫



今回我々農民の目となり、耳となり、刻々と情報を懇切に伝え運営の窓口として活躍いたゞける「海部土地改良区広報」を創刊される報に接し、誠に喜ばしく衷心よりお祝い申し上げます。

木曾川濃尾第二地区の総合用水事業が計画され、水資源開発公団によって近代化技術を導入し、事業が着々進められ完工も間近の運びと承り、これが完成の暁には面目を一新し、用水機能を高率的に発揮できるものと農民均しく待望いたして居ります。

当地方は、古より農地の開拓が先覚者により積極的に取組まれ他に類のない高度の農業が営まれ、穀倉地帯として名声高くこの起因は自然に恵まれた水の豊庫「木曾川」に依存していることは、いまさら云うまでもないことである。その後農地改革が施行せられ、農業経営の合理化と生産力の発展を旗印に土地改良事業が推進せられたが、近時著しい高度生長による中部経済圏の飛躍的な発展に伴う工業用水、上水道と既設農業用水との調整が急務となり、加うるに地盤沈下、公害等諸悪条件の解決が重なり、これに対処するためこのたび

この近代的用水方式の一大転換期に際し管理の万全と運営の架橋として重要な役割を果たされる意義深い広報の発刊は誠にご同慶に堪えません。

今後心気一転高邁なる運営とご発展を祈念しお祝いの言葉といたします。

### 「海部土地改良区」広報創刊を祝して

水資源開発公団中部支社長 山 本 純



海部土地改良区広報紙の創刊のお祝いを申し上げるとともに、木曾川総合用水事業の推進に、貴土地改良区の皆様、多大の協力を賜っておりますことを、誌上を借りてお礼申し上げます。

工事については今後の施行にまつところではありますが、これら工事の実施にあたりましては、地元皆様の絶大なご協力をいただいております。感謝いたしておる次第であります。

木曾川は、遠く江戸時代から洪水と闘いながら開発が進められてきたところでございますが、近來流況の変動等に伴って、下流域に於ては河床の低下が著しく、また甚だしい地盤沈下も加わって、用水の取水が極めて困難となり、あわせて排水組織の増強が必要とされてきました。まして中部経済圏の開発発展は、都市用水の需要を増大し、木曾川の水の統合的な利水対策を図ることが急がれてきたものであります。

さて配水組織が完成いたしました地域につきましては、これをいかに有効に利用し、いかに農業経営の合理化生産性の発展をはかってゆくかが、今後の問題であり、配水管理についても土地改良区の皆様のご尽力によらねばならぬと思っております。今般この広報誌が発刊され、今後の農業経営の指導に、そして土地改良事業運営の機関誌として、最大の効果をあげられることを期待し、創刊のお慶びを申し上げ、今後の発展をお祈り申し上げます。

木曾川総合用水の水源として計画された岩屋ダムはすでに完成し湛水を開始しております。

今般、馬飼頭首工（木曾川大堰）とともに海部幹線水路の主要部分が完成し、利用が可能となりました。弥富町以南の

### 「海部土地改良区広報」の発刊を祝して

愛知県農地部長 勝 又 讓

海部土地改良区が誕生して、早くも8年が過ぎ、その基礎は十二分に固り、これから増々その真価を発揮する時に「海部土地改良区広報」が発刊されますことは、誠に時宜を得たものと心からお祝いを申し上げます。

今回発行される広報紙が、皆様の目、耳、口となり、海部土地改良区が当面する諸問題である事業の推進、諸施設の維持管理、組合員相互の意志疎通等々、健全なる運営に大きな役割を果たすものと信じております。

海部土地改良区念願の大事業であります木曾川用水事業も、皆様の御努力で、公団事業による県内三番目の用水として、完成に今一步のところまで参りました。

県といたしましても、今後強力な事業推進、土地改良区の健全なる発展のために皆様とともに努力して参る所存でございます。

そこで、これからは、新しいシステムにより確保いたしました「水」を最も合理的に、しかも有効に利用してこそ、当地域の調和ある発展が約束されるのであります。

この様な意義ある広報紙発刊にあたり、海部土地改良区が今後増々発展されることを期待してお祝いの言葉といたします。

そのため旧来の水利用の慣行を整理、調整し、新しい利用方法を、皆様で編み出して行くことが急務であろうと思えます。

総代名簿

総代の任期満了（昭和51年 6月20日）に伴う総代会総代選挙が 6月15日行なわれ新総代のみなさんが 6月21日就任されました。

Table with 8 columns: 選挙区, 住 所, 氏 名, 電話番号, 選挙区, 住 所, 氏 名, 電話番号. Lists representatives for 1st to 6th districts.

役員名簿

役員（理事・監事）の任期満了（昭和51年 6月28日）に伴う役員選挙が 6月24日行なわれ次のみなさんが 7月 2日就任されました。

Table with 16 columns: 被選挙区, 職名, 氏 名, 被選挙区, 職名, 氏 名, 被選挙区, 職名, 氏 名, 被選挙区, 職名, 氏 名, 被選挙区, 職名, 氏 名. Lists board members for 1st to 3rd districts.

参与の皆さん

Table listing participants with columns for 市町村名, 氏 名, 住 所, 電話番号. Lists names and addresses of participants.

用地特別委員

Table with 12 columns: 市町村名, 氏 名, 住 所, 電話番号, 市町村名, 氏 名, 住 所, 電話番号. Lists special land use committee members.

用排水調整委員

Table with 12 columns: 市町村名, 氏 名, 住 所, 電話番号, 市町村名, 氏 名, 住 所, 電話番号. Lists water and drainage adjustment committee members.

昭和51年度土地改良区予算

昭和51年度一般会計及び特別会計予算は次のとおりであります。

1. 一般会計

[昭和51年3月25日議決]

Table with 4 columns: 収入款, 本年度予算額, 支出款, 本年度予算額. Rows include 組合費, 委託費, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 事務所費, 選挙費, 委託費, 負担金, 職員退職給与積立金繰出金, 償還金, 子備費.

2. 農地転用協力金特別会計

[昭和51年3月25日議決]

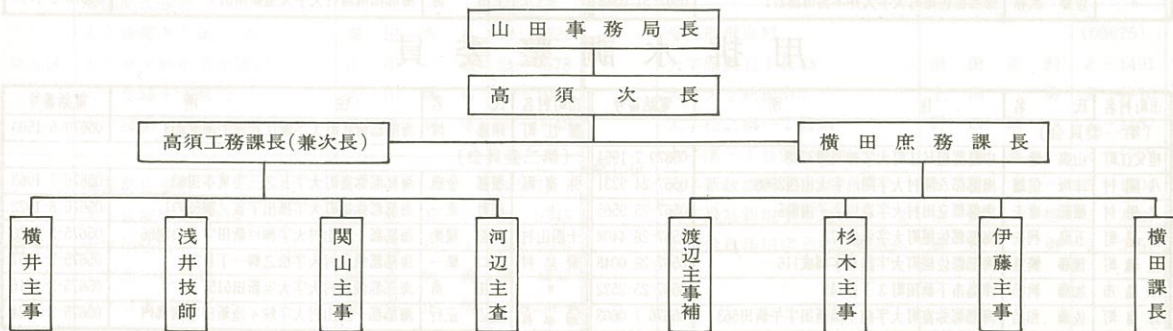
Table with 4 columns: 収入款, 本年度予算額, 支出款, 本年度予算額. Rows include 農地転用協力金, 繰越金, 償還金, 雑収入, 事務所費, 還付金, 積立金, 繰出金, 子備費.

3. 木曾川用水関連土地改良事業特別会計

[昭和51年3月25日議決]

Table with 4 columns: 収入款, 本年度予算額, 支出款, 本年度予算額. Rows include 特別賦課金, 補助金, 長期借入金, 雑収入, 事務所費, 事業費, 委託費, 償還利子, 負担金, 子備費.

海部土地改良区事務局職員編成表



木曾川総合用水事業のあらまし

1. 事業の経緯

昭和34年～昭和38年 農林省直轄調査
昭和39年～昭和40年 全体実施設計
昭和41年10月1日 国営事業所開設
昭和43年10月1日 公団仮承継
昭和43年10月15日 基本計画決定
昭和44年8月18日 事業実施方針の指示
昭和44年12月23日 計画認可
昭和44年12月25日 公団承継

2. 事業の概要

1) 事業目的

この事業は木曾川水系においてさきに開発された愛知用水および濃尾用水事業と関連する一環の事業であり、水源施設として飛騨川支流馬瀬川に治水・利水・発電を兼ねた多目的ダムとして岩屋ダムを建設して各用水を確保すると共に、利水事業としては、木曾川右岸用水(上流部)、岐阜中流用水(中流部)、濃尾第2用水(下流部)を建設する。
利水形態はダムの貯留水と自然水の有効利用を図ることにより農業用水等の取水の近代化・合理化をはかると共に中部経済圏諸都市への都市用水の新規需要にこたえんとするものである。

下流部事業は木曾川河口より26km地点の祖父江町馬飼に馬飼頭首工を建設し、木曾川その他小河川にあった既得水利権を合口化し愛知県中島郡の一部、海部郡一帯の農地および三重県桑名郡の農地約9,000haに対して農業用水最大25.63m³/sを供給するとともに愛知県工業用水最大6.30m³/s、三重県工業用水最大9.00m³/sおよび水道用水最大1.00m³/s、合計41.93m³/sの取水供給をはかるものである。
一方排水工は、用水組織の整備にあはせて海部郡一帯の低湿地帯約8,000haの受益地を対象に排水施設を増強して圃場の乾田化をはからんとするものである。事業実施にあ

たっては愛知県が別途事業として実施している湛水防除事業との調整をはかり一貫した地域排水計画のなかで初期の目的を達せられるよう計画している。

2) 農業受益地域

上流部 岐阜県美濃加茂市他2市3町2村
下流部 愛知県津島市、他5町4村
三重県長島町他1村

3) 計画最大取水量

Table with 5 columns: 地区名, 農業用水, 工業用水, 水道用水, 計. Rows include 上流部, 中流部, 下流部.

( )内数字は愛知県分内数である。

4) 下流部工事の進捗状況

イ) 馬飼頭首工工事

頭首工本体工事及びこれに関連する付帯工事も完了し現在ゲート自動制御装置の調整中であります。残工事としては上、下流の旧堤撤去工事が残っており、これは51年度及び52年度に施工する計画である。

ロ) 幹線水路工事

幹線水路工事は表の如く21.6km完成して居ります。

Table with 4 columns: 用水路, 総延長, 完了延長, %. Rows include 海部幹線水路, 幹線西用水路, 筏川東岸用水路, etc.

水資源開発公団木曾川総合用水第一建設所

所長 長野 惇

今后共尚一層よろしくお願い申し上げます。

「海部土地改良区」広報の創刊お目出度うございます。海部土地改良区そして受益地の方々の益々の御発展をお祈り申し上げます。

扱て木曾川総合用水事業の公団直轄工事の中木曾川大堰は完成し海部幹線水路も弥富送水機場まで約15軒を竣功して通水の準備が出来ました。一重に皆様方の御指導と御協力のたまものと厚く御礼申し上げます。しかしながら今後の施工にまつ地域が多く一刻も早くすみずみまで水が届く様に念願し、職員一同鋭意努力を続けております。

### 支線水路事業(公団委託)の概要

受益面積 100 ha 以上の主要施設は水資源開発公団が事業主体となり実施しています。実施しています。  
 受益面積 50 ha 以下の関係施設は県が受託して進捗状況は下表の通りです。

年度 区分	全 体	44	45	46	47	48	49	50	51年度 以 降	50年度 まで進捗
事業費	10,173,000	495,198	561,356	517,631	658,785	618,422	842,203	852,429	5,626,976	45%
事業量										
支線水路	P 39ヶ所 74,233m	—	—	P 3 5,724m	P 6 12,696m	P 9 7,769m	P 1 8,000m	P 3 6,423m	P 17 16,636m	65
排水路	19,618m	2,010m	1,056m	1,179m	—	—	219m	522m	14,632m	17

〔備考〕 事業費……千円単位 P……揚水機場



完成した支線水路  
並びに揚水機場  
(西保揚水機場)

愛知県海部農地開発事務所

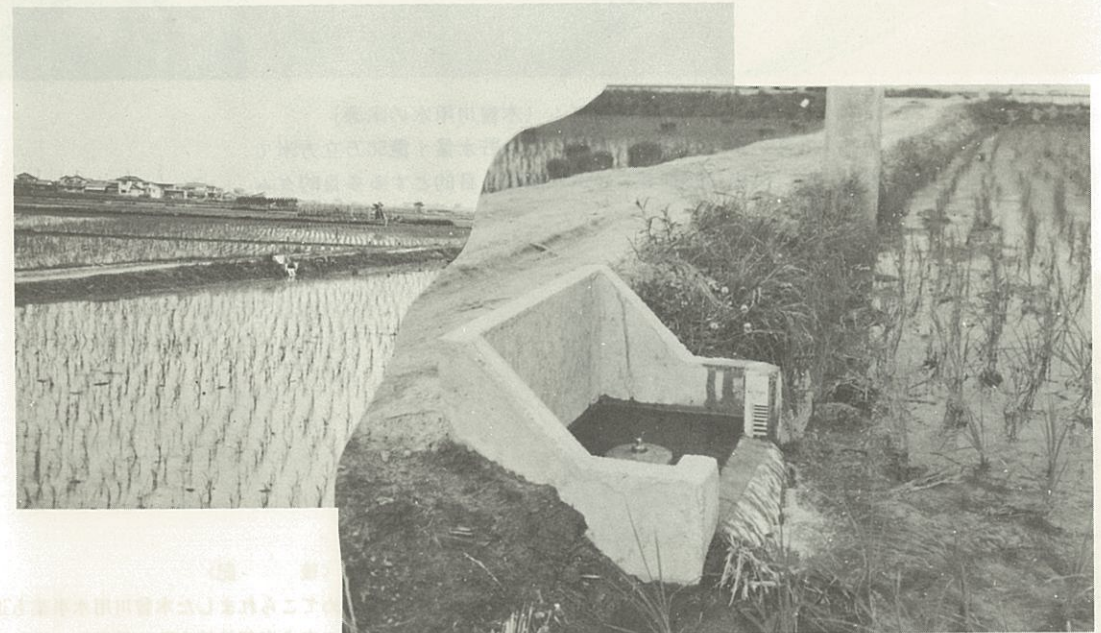
所長 小塚 鼎

海部土地改良広報の創刊号発行おめでとうございます。  
 この地域の大部分は海拔 0 m 以下の低湿水田地帯であり、この劣悪な農業立地を改善するため用排兼用水路を分離し、用水排水施設を整備するため実施している木曾川用水事業も着々と進められ去る 2 月には木曾川大堰が完成し、この水の有効利用もそう遠いことではありません。また近年当地域は地盤沈下が甚だしく自然排水条件の阻害もあって湛水による

### 木曾川用水関連土地改良事業の概要

公団事業(受益面積 100 ha 以上)以下の末端施設は受益面積がお、むね 20ha 以上でありかつ末端支配面積がお、むね 5 ha 以上の団地を対象として海部土地改良区が事業主体となり工事は県に委託して実施しています。進捗状況は下表の通りです。

年度 区分	全 体	46	47	48	49	50	51年度 以 降	50年度 まで進捗
事業費	9,045,920	217,023	579,450	653,616	622,175	743,809	6,229,847	31 %
(事業量)								
用水路	545,350m	33,290m	99,655m	77,486m	45,320m	69,487m	220,112m	48
排水路	66,543m	—	—	2,543m	1,433m	2,605m	59,962m	6
排水機	16ヶ所	—	—	—	—	—	—	0



配水バルブ単位で自由な  
水の使用が出来る給水栓工